

CONTENTS

■ ごあいさつ	03	■ 環境	
■ CSRマネジメント		環境マネジメント	20
小野薬品のCSR経営とは	05	環境マネジメント推進体制	21
小野薬品が取り組む重点領域	06	小野薬品と環境とのかかわり	21
重点領域の特定の方法	06	地球温暖化対策	21
CSR推進体制	06	温室効果ガス排出削減に 向けたさまざまな取り組み	23
■ 小野薬品の歴史	07	廃棄物管理	24
■ コーポレートガバナンス	09	大気汚染・水質汚濁	25
■ コンプライアンス		化学物質	25
企業倫理の推進	10	環境効率性／環境会計	26
研究・開発における 倫理的配慮の取り組み	11	■ 公正な事業慣行	
製品責任	11	贈賄など不正・腐敗防止に 対する取り組み	28
リスクマネジメント	12	CSR調達	28
■ 革新的な医薬品開発		■ 社会	
小野薬品が目指すビジネスモデル	13	コミュニティへの参画	29
新薬の開発状況	14	患者さんご家族の支援	30
主要領域の製品	15	寄附講座開設	31
■ 人財・人権		公益財団法人小野医学研究財団	31
「自律する」人財の育成	17	■ IR活動	32
働きやすい職場	17	■ 会社概要	33
安全衛生	19	■ 第三者意見	34
人権尊重	19		
労働組合との関係	19		
社員の構成	19		

編集方針

小野薬品では、CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)に関わる情報開示の一貫として「CSR報告書2013」を発行しています。また、当社を取り巻くステークホルダーの皆さまに、当社グループのCSRの考え方や、「コーポレート・ガバナンス」を基盤としたCSR重点領域(「革新的な医薬品の開発」「人財・人権」「環境」「公正な事業慣行」「社会」)に関する取り組みについてご理解いただき、コミュニケーションを図ることができるよう、さまざまな情報を掲載しています。

報告対象範囲

小野薬品工業株式会社の活動報告を中心に、一部の項目ではグループ全体、あるいはグループ会社の活動についても取り上げて報告しています。

対象期間

2012年4月1日～2013年3月31日(2012年度) ※一部の内容については2013年4月以降の活動も含みます。

参考ガイドライン

GRI(Global Reporting Initiative) 「サステナビリティ レポートガイドライン 第3.1版」参照
「ISO26000」参照

環境省「環境報告ガイドライン2007年版」

環境省「環境会計ガイドライン2005年版」

発行 2013年11月／次回発行予定 2014年9月